

第 6 卷

せいじゅ

SEIJU

1987

季



横浜 善光寺刊

寒中や見舞申上ります

梅は寒を経て芳香を放つと句があ
りますがこの寒さにこそ人間成長の
要因があることを思えば寒さもまた
有難いとあります

さて、成寿、第六号をお届けます
実は新年早々にお送りする予定で
いたが印刷所へ運び出しました
お詫び申しあげます。海外派遣事業も
まもなく軌道に乗りましたこと謹而てお讀
み願ひたければ幸いです

まことに幸もしくお様とお喜び下す念

昭和廿二年四月一日

檀徒の清林

美濃と寺住弘萬大園あ

(武志)

雙ひと

要くみ

母も 父も

はた 親族したしきも

たどえいかなる

たすけをなすとも

正しき心もて作なせる

さいわい にくまれるもの

誰かなしえん

「法句經」

せいじゅ

SEIJU

季口
1987

